

「Tea Ceremony Project」で文化交流

- 総合的な学習の時間（情報教育）の実践より -

中学校3年・総合的な学習の時間

宮崎県国富町立八代中学校 教諭 小松 浩康

komatsu@miyazaki-c.ed.jp

<http://www.miyazaki-c.ed.jp/yatsushiro-j/>

キーワード：中学校，3年，総合的な学習の時間，国際交流，情報教育

1．総合的な学習（情報教育）のねらい

ネットワーク化・情報化が進む社会の中で、情報活用能力の育成が必要である。本校は平成13年4月にインターネットへの接続、平成14年11月には光ケーブルを利用した地域イントラネットの供用を受けネットワーク化に対するハード面の整備が行われてきた。そこで、本年度は総合的な学習の中に情報教育を取り入れ、生徒の情報活用能力の育成のために、情報の収集・整理・発信の学習を年間を通して行うことにした。

特に「Tea Ceremony Project」では、スリナム共和国の学生と自分の家で飲む「お茶の入れ方・飲み方など(Tea Ceremony)」を紹介する国際交流活動で、どのようにして自分たちが飲んでいる「お茶」について紹介できるか、創意工夫を行うことで郷土の理解と交流相手の人々の文化を理解し、21世紀に生きる子どもたちの知的好奇心を高め、進んでリーダーとして活躍できる資質の向上を図りたいと考えた。

2．実践にあたって（年間学習指導計画）

(1) ご近所の秘密を調査しよう(10時間)

宮崎県内の44市町村について、人口・面積・花・木・鳥・特産物・名所旧跡・有名人など、様々な観点から調査して、それぞれの市町村の特徴を調べた。これらの調査の中でインターネットだけで調べることは難しく、図書室の本や電話インタビュー等の様々な手段を利用する必要があることに生徒たちは気づいた。

また、1枚のシート(A4)にまとめるための情報の取捨選択と見やすい形に整理し、お互いの作品を評価して表現の良いところを取り入れることができるようにした。

(2) 国富町をPRしよう(10時間)

(1)で調べた情報をもとに、国富町のPRについて表現することにした。表現方法は、CMビデオとPRシートである。生徒たちは、ビデオ機器についてほとんど実際に使用したことがなく、絵コンテを描いて実際に撮影をすることを大変楽しみながら行った。また、PRシート(A4)は前回の作品の批評をもとに見やすくカラフルな作品が多く出来上がった。

(3) 国際交流しよう(15時間)

国際交流については、インターネットを利用した交流活動を予定してiEARNの国際交流部門に協力を依頼しておいたところ、スリナム共和国(Republic of Suriname)のコーディネータによる「Tea Ceremony Project」の紹介があった。約四ヶ月の交流で生徒がどのように変容するかを楽しみに交流活動を始めることにした。

3．「Tea Ceremony Project」

(1) 交流活動計画の作成(9～10月)

- ・ スリナム、日本の交流活動のコーディネータとの交流計画作成の打ち合わせ

(2) 交流活動の実際(11～2月)

- ・ スリナム共和国についてのリサーチ
- ・ 電子掲示板に自己紹介を書き込もう
- ・ 自宅のTea Ceremonyをシートにまとめ(A4)スリナムに送ろう
- ・ お互いのシートの感想を電子掲示板に書き込もう

(生徒の学習意欲の維持と向上のために、週1時間の授業を効果的に行えるように目標を短い期間に区切って交流活動を行う)

(3) 交流活動の反省と今後の活動(3月)

- ・ スリナム、日本の交流活動のコーディネータと交流活動の反省と今後の活動について話し合う

4 . 実際の活動

i E A R Nの紹介により、11月よりスリナム共和国(Republic of Suriname)の教師(Dave Abeleve)と共同で「ティー・セレモニー」をメインテーマに文化交流を図ることにした。本校の生徒の学習活動の中で、緑茶、麦茶、昆布茶などの種類をどのように説明するか、茶器についての説明をどのようにするか、等の疑問点が次々に起こり、写真を取り入れたり絵を描いたりして説明する生徒や文章表現で一生懸命に説明する生徒があらわれた。

日常的な飲食物であるお茶の飲み方を、外国の人たちへ伝えることによって、より深い日本文化の理解につながり生徒一人一人が小さな外交官としての自覚を育んでいく様子が見られた。

また、作成シートの内容を自宅のことに限定(Tea Ceremony of my home)をすることで、交流活動を一般的な交流とすることをさげ自分自身の交流活動である、との意欲付けを行うことができた。

(1) スリナム共和国のリサーチ

スリナム共和国の位置や民族、言語、人口などインターネットで情報にヒットしたときに多くの生徒に喜びが見られた。これらの情報をプリントアウトしてノートに貼ることによっていつでも必要な情報が見られるようにした。また、どのようにしてTea Ceremonyについて交流を行うか常に生徒と話し合い生徒の好奇心や学習意欲の高まり継続するように指導を行った。

(2) 電子掲示板で自己紹介

本校の第3学年の生徒たちにとって、初めての電子掲示板への書き込みであり、書き込みの方法から内容まで一喜一憂しながら授業が展開していった。特に、電子掲示板の開く相手のことを考え、相手に失礼にならないように自己紹介することについて悩みながら書き込んでいった。また、返事が待ち遠しく幾度も電子掲示板をのぞいた生徒が多かった。

(3) 我が家のTea Ceremony

お正月の宿題として「我が家のTea Ceremony」のリサーチを行った。スリナムの学生が読めるように英語をメインにして日本語の対訳をつけたり、写真などの情報を貼り付けお茶の道具をわかりやすく解説したり、図解入りでお茶の入れ方・飲み方を紹介したりした。A4版1枚のシートにうまくまとめるために、情報を足したり切ったりして仕上げた。

5 . 成果と課題

(1) 成果

- ・ 交流活動に対する生徒の好奇心の高まりと学習意欲の喚起が図れた。
- ・ 情報モラルに対する理解の高まりが見られた。
- ・ 情報の収集・整理・発信に工夫が見られた。
- ・ 郷土の文化の理解と他国の文化に対する理解の深まりが見られた。

(2) 課題

- ・ お互いの国の学習状況が違うため、連絡が途切れがちになったので、連絡を密にする工夫がもっと必要であった。
- ・ 素材を厳選してWeb作品にまで作り上げることができるようにしたかった。